

東北地方 1か月予報

(3月12日から4月11日までの天候見通し)

平成17年3月11日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

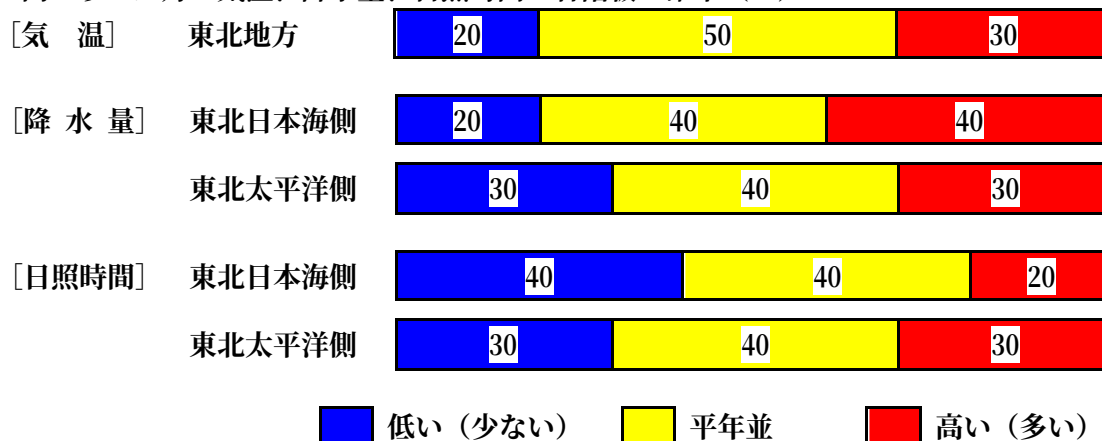
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

期間の前半は、低気圧が数日の周期で通過し、通過後は一時寒気が南下して冬型の気圧配置となるでしょう。後半は、天気は数日の周期で変化するでしょう。東北日本海側は平年に比べ曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

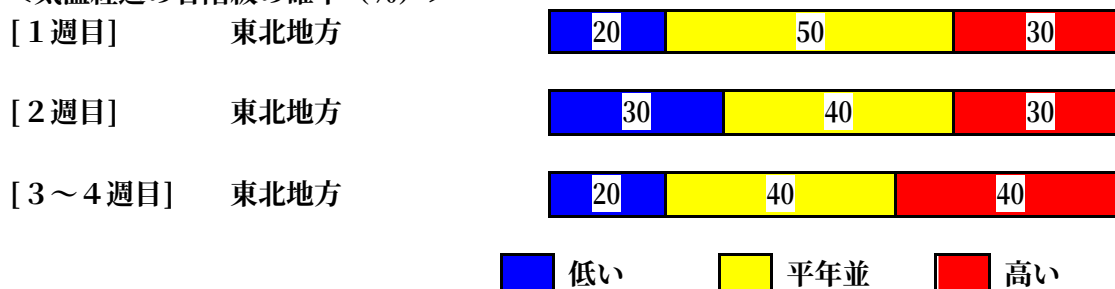
向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は東北日本海側は平年並か多い、東北太平洋側は平年並、日照時間は東北日本海側は平年並か少ない、東北太平洋側は平年並でしょう。

平均気温は、1週目は平年並、2週目は平年並、3～4週目は平年並か高いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 3月12日(土)～ 4月11日(月)
1週目 : 3月12日(土)～ 3月18日(金)
2週目 : 3月19日(土)～ 3月25日(金)
3～4週目 : 3月26日(土)～ 4月 8日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は3月18日
3か月予報: 3月24日(木) 14時00分

<参考資料（平年並の範囲等）>

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (℃)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(℃)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
大船渡	5.3	115.0	173.1	3.3	4.1	6.2
新庄	3.8	107.2	132.5	1.7	2.7	4.7
若松	5.1	67.1	153.2	2.7	3.8	6.3
深浦	4.5	86.8	147.6	2.4	3.4	5.6
青森	3.9	64.3	165.2	1.7	2.8	5.0
むつ	3.3	76.9	172.5	1.1	2.2	4.4
八戸	4.3	53.9	184.1	2.0	3.0	5.4
秋田	5.2	101.0	158.3	2.9	4.0	6.3
盛岡	3.9	87.7	170.8	1.6	2.7	5.1
宮古	4.9	95.8	187.7	2.8	3.7	5.9
酒田	6.0	102.9	148.6	4.0	4.9	7.0
山形	5.2	66.4	159.9	2.8	3.9	6.3
仙台	6.3	86.1	187.6	4.3	5.2	7.3
石巻	5.5	81.8	192.6	3.5	4.4	6.5
福島	6.9	82.8	184.1	4.6	5.6	7.9
白河	5.5	89.0	183.3	3.3	4.3	6.6
小名浜	7.7	123.6	186.8	6.0	6.7	8.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.2～+0.4	87～ 111	97～ 106
東北日本海側	-0.2～+0.3	88～ 108	94～ 105
東北太平洋側	-0.2～+0.3	83～ 117	97～ 105

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.6	-0.5～+0.6	-0.5～+0.6
東北日本海側	-0.6～+0.6	-0.5～+0.6	-0.5～+0.5
東北太平洋側	-0.6～+0.6	-0.5～+0.6	-0.4～+0.6

<参考資料（利用上の注意）>

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10%以下や 60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成 17 年 3 月 11 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（3 月 12 日～4 月 11 日）：

期間の前半は、低気圧が数日の周期で通過し、通過後は一時寒気が南下して冬型の気圧配置となるでしょう。後半は、天気は数日の周期で変化するでしょう。東北日本海側は平年に比べ曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1 週目（3 月 12 日～3 月 18 日）：

気圧の谷や寒気の影響で、東北日本海側では雪や雨の日が多いでしょう。東北太平洋側は晴れの日が多いですが、期間の終わりは曇る日もある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2 週目（3 月 19 日～3 月 25 日）：

低気圧が数日の周期で通過し、通過後は一時寒気が南下するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目（3 月 26 日～4 月 8 日）：

天気は数日の周期で変化する、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

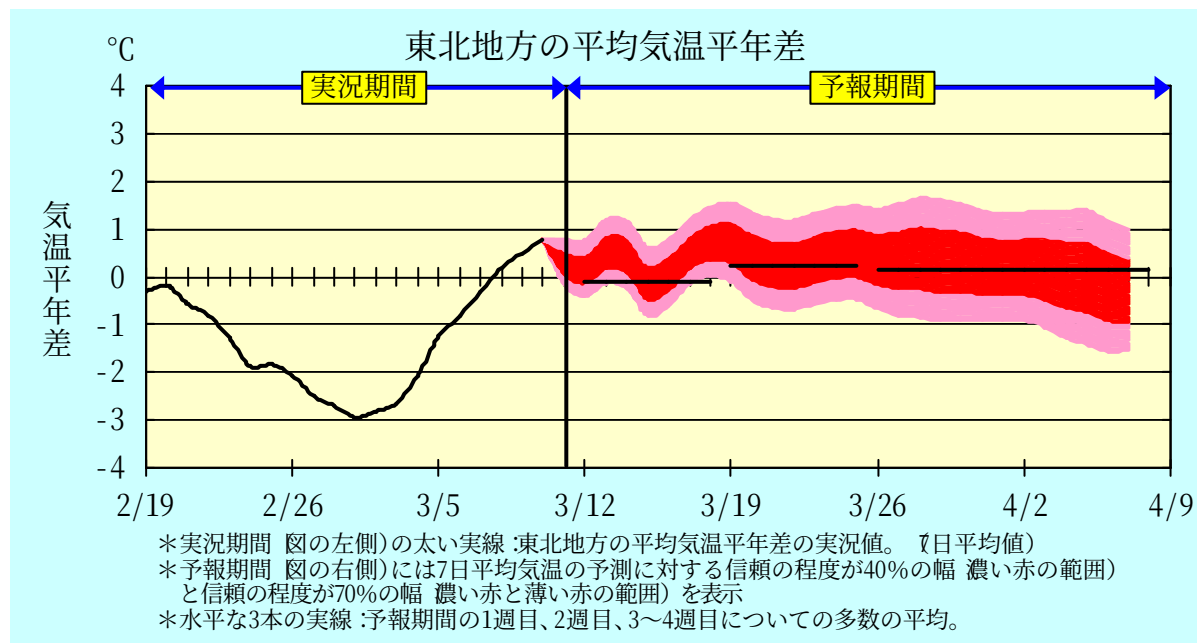
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	13.8 日	3.0 日	3.3 日	7.5 日
東北太平洋側	17.7 日	4.7 日	4.3 日	8.7 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目共に「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から 3～4 週目を「平年並か高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

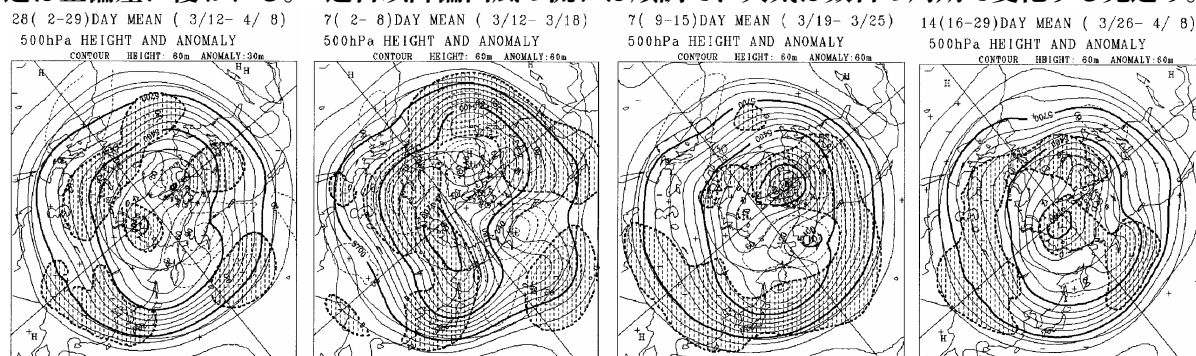


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、高緯度のバイカル湖からアラスカ付近にかけて正偏差、中緯度には負偏差が広がり、寒気は放出傾向。日本付近は本州以南が負偏差に覆われる。

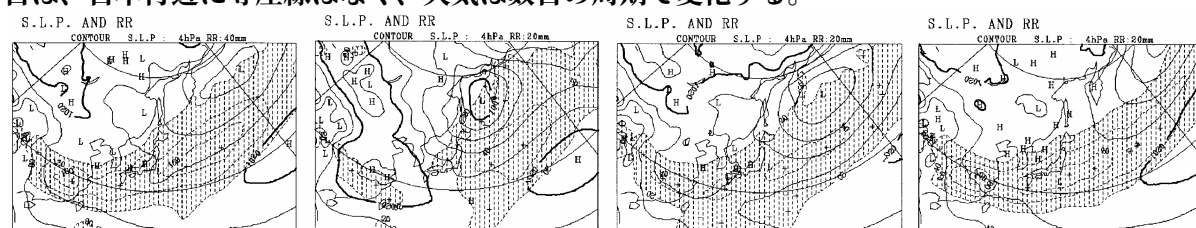
1週目は、日本付近は深い気圧の谷となり、広く負偏差に覆われる。2週目も、アラスカ付近の正偏差が強く、極東域の中緯度は大陸から帯状に広がる負偏差に覆われる。3～4週目は、日本付近は正偏差に覆われる。2週目以降偏西風の流れは順調で、天気は数日の周期で変化する見込み。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近は平年と同様に弱い冬型の気圧配置。等圧線の間隔も広く、天気は数日の周期で変化する。まとまった降水域は本州南岸に予想される。

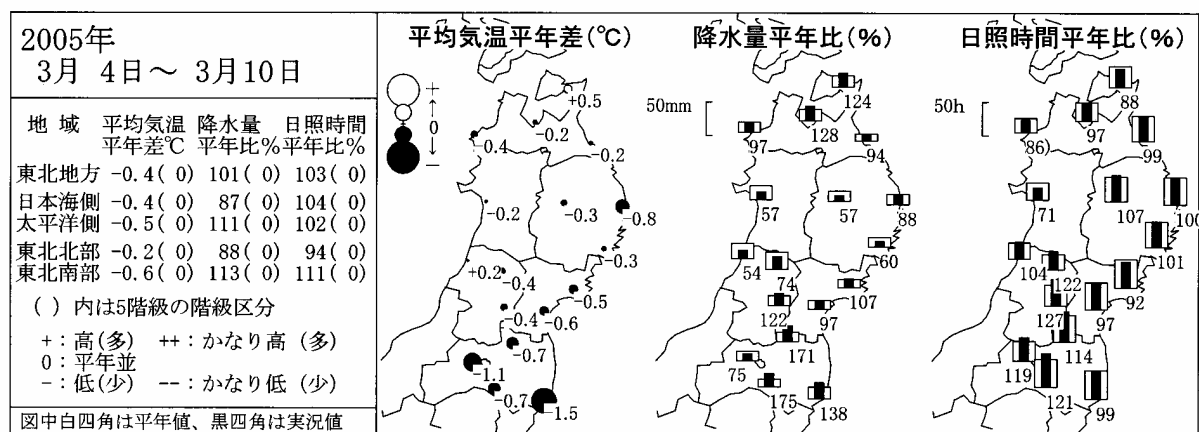
1週目は、オホーツク海の低気圧が強く、平年に比べ冬型の気圧配置が強い。一時寒気の南下が予想されるが、北の低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込む時期もある。2週目は、平年と同様に弱い冬型の気圧配置。等圧線の間隔も広く、低気圧が数日の周期で通過する。3～4週目は、日本付近に等圧線はなく、天気は数日の周期で変化する。



4. 最近1週間（3月4日～3月10日）の天候の経過

4日は、南岸低気圧の影響で東南北部は大雪となり、交通機関に障害が多発し、死亡事故も発生した。5～7日にかけては高気圧に覆われ、東北太平洋側を中心に概ね晴れた。8日は、東北地方を寒冷前線が通過し、通過後は一時冬型の気圧配置が強まって強風となる所もあったが、10日には再び気圧の谷が接近し、天気は下り坂となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北地方で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）